

令和4年度 地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統) 概要

福井県生活バス路線確保対策協議会

【公共交通の現状】

福井県内のアクセス

福井県内の主な鉄道・バス路線図



嶺北地域の状況

・嶺北地域においては、南北を走るJR北陸本線を基軸として、県都福井市と各市町がJR越美北線、福井鉄道福武線、えちぜん鉄道勝山永平寺線・三国芦原線で結ばれており、これらを補完する形で京福バスや福鉄バス等が路線バス等を、各市町がコミュニティバス等を運行している。

○JR北陸本線

福井県内19駅(新疋田駅～牛ノ谷駅)

○福井鉄道福武線

25駅(越前武生駅～田原町駅)

○民営バス

京福バス45路線、福井鉄道10路線

○JR越美北線

22駅(越前花堂駅～九頭竜湖駅)

○えちぜん鉄道勝山永平寺線、三国芦原線

44駅(福井駅～勝山駅、三国港駅)

○コミュニティバス等

嶺北地域全11市町が運行

嶺南地域の状況

・嶺南地域においては、東西を走るJR小浜線を基幹として、福鉄バス等が路線バスを、各市町がコミュニティバス等を運行している。複数市町をまたぐバス路線は、民営バスの5路線のみである。

○JR小浜線

福井県内22駅(敦賀駅～青郷駅)

○民営バス

福井鉄道	4路線
大和交通	1路線
京都交通	1路線
西日本JRバス	1路線

○コミュニティバス等

嶺南地域全6市町が運行

地域鉄道の状況

○えちぜん鉄道

福井駅を起点に福井市北東部および永平寺町を経由する「勝山永平寺線」と、福井市北西部および坂井市を経由する「三国芦原線」が走行している。

○福井鉄道

JR北陸本線と並行する形で、福井市(田原町駅)から越前市(越前武生駅)までを運行している。

○平成28年3月に、福井鉄道福武線とえちぜん鉄道三国芦原線の相互乗り入れを実施し、利用者数が増加傾向にある。

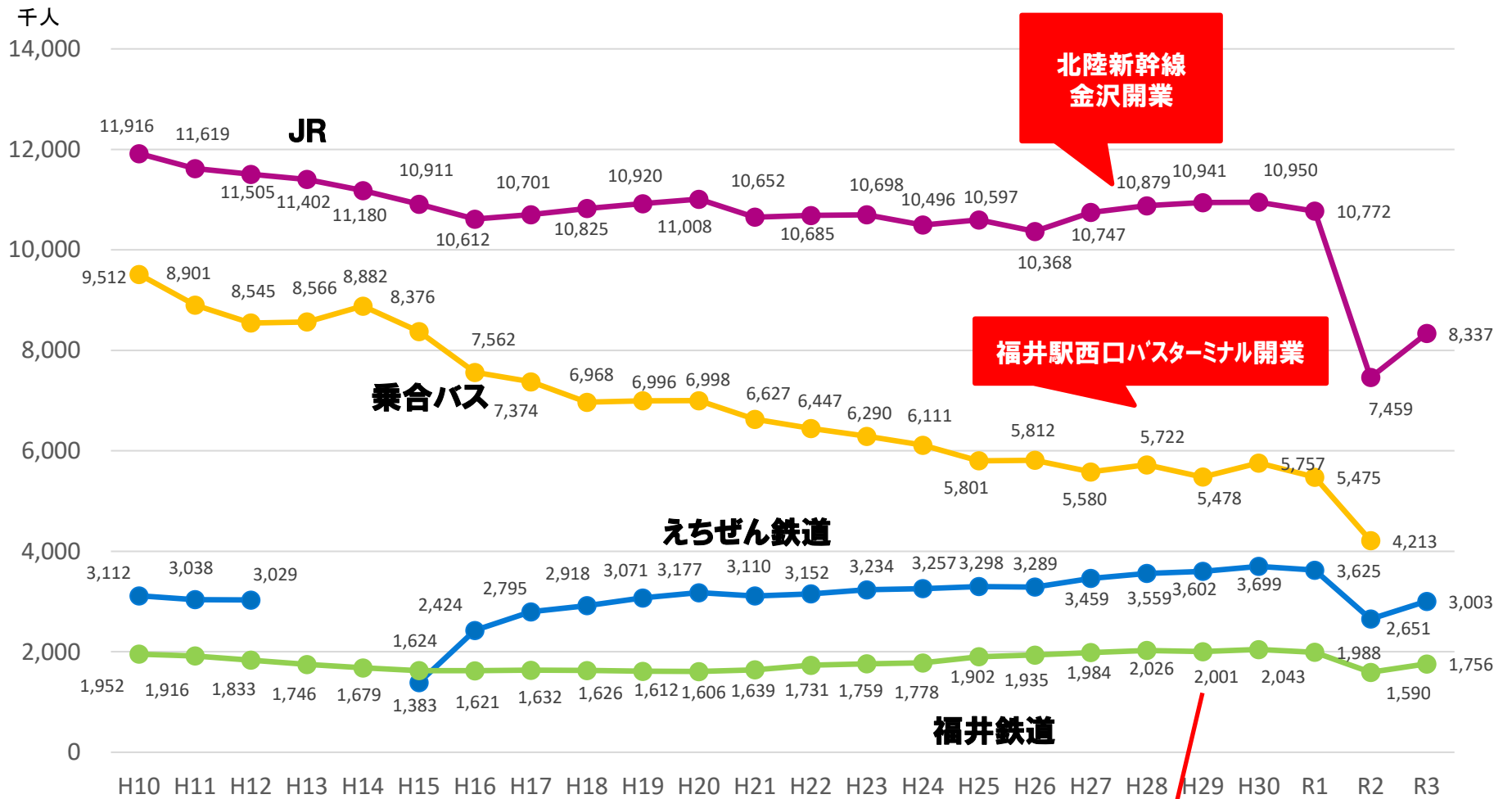
えちぜん鉄道

- 営業路線延長 53.0km
(三国芦原線) 25.2km [鉄道区間]
(勝山永平寺線) 27.8km [鉄道区間]
- 使用車両 大型車両 21編成 低床車両 2編成
- ・2度(H12年12月、H13年6月)の正面衝突事故により廃線
- ・2年5か月のバス代行を経て、H14年9月にえちぜん鉄道が発足
- ・H15年10月の全線開通後は、地域住民・沿線自治体・事業者が一体となって、利用者増を実現
(利用者数 H16年度 2,424千人 → R3年度 3,003千人)
- ・R4年3月には、えちぜん鉄道交通圏地域公共交通計画を策定

福井鉄道

- 営業路線延長(福武線) 21.5km
鉄道区間 18.1km 軌道区間 3.4km
- 使用車両 大型車両 1編成 低床車両 13編成
- ・H18年度に経営赤字により自主的経営再建を断念し、県・沿線自治体に支援を要請
- ・H21年2月に鉄道事業再構築実施計画を策定し、地域住民、自治体、事業者が一体となって再建を行っている。
(利用者数 H16年度 1,621千人 → R3年度 1,757千人)
- ・R5年3月には、福井鉄道交通圏地域公共交通計画を策定予定

福井県内のバス・鉄道の利用状況



北陸新幹線
金沢開業

福井駅西口バスターミナル開業

えち鉄・福鉄相互乗り入れ
福鉄駅前延伸

新型コロナウイルス
感染症

出典：JR 「福井県統計年鑑(福井県)」
乗合バス 「数字でみる中部の運輸(中部運輸局)」
えちぜん鉄道、福井鉄道からの報告によるもの

【令和4年度地域公共交通確保維持改善事業について】

確保維持事業に係る目的・必要性

- ・一世帯当たりの自動車保有台数が全国トップクラスであるなど、日常生活における自家用車の依存が高い。
- ・人口減少や少子化の影響、新型コロナウイルス流行による出控え等により、路線バスの輸送人員は減少傾向が続いている。
- ・そのため、多くのバス路線は採算面で厳しい状況に置かれており、事業者単独でバス路線を維持することは困難な状況にある。
- ・しかし、生活バス路線は、高校生の通学や高齢者の通院など住民の生活交通手段を確保するうえで不可欠であり、特に地域間幹線系統の維持はこれらの利用において重要な役割を果たしていることから、確保維持に向けて重点的に取り組む必要がある。
- ・また、県民の過度なクルマ利用意識を見直し、公共交通機関や自転車の利用を呼びかけるカー・セーブ運動を今後進めていく上でも、バス路線の維持が不可欠である。

確保維持事業に係る目標・効果・評価

【系統】

- ・24系統（福井鉄道8系統、京福バス13系統、大和交通1系統、京都交通1系統、西日本JRバス1系統）

【目標】

- ・各路線の輸送量について、令和2年度実績(計画策定時の前年度)同程度の利用者を確保。

【効果】

- ・通勤通学や買い物、通院等を目的とした交通弱者の移動に必要不可欠な交通手段が確保される。

【評価】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が減少し、ほとんどの路線で定量的な目標を達成できなかった。

- ・定量的目標以上の輸送量および経常収支の改善を達成した 4系統→A評価
- ・定量的目標以上の輸送量または経常収支の改善を達成した 9系統→B評価
- ・定量的目標以下の輸送量および経常収支の改善を達成できなかった 11系統→C評価

前回の事業評価結果

評価点

- ・新型コロナウイルス対策として、公共交通機関の利用促進に向けた広報活動等を積極的に展開していることについて評価。
- ・新型コロナウイルス感染拡大により経営に大きな影響を受けている公共交通事業者に対して経営支援を行うことにより、公共交通の確保・維持に取り組んだことについて評価。

今後の期待点

- ・北陸新幹線開業を控え利便性の高い公共交通ネットワーク形成に向け、県内市町との連携のもと、広域の地域公共交通計画策定の調査・検討を進めていくことを期待。
- ・輸送量や収支率が低く、維持が危ぶまれる地域間幹線系統(特に計画輸送量が15人未満となっている系統)については、生産性向上WG等の場を活用しつつ、現状の把握や課題の整理を行うとともに、当該系統の必要性に応じ、利用促進や系統維持に向けた関係事業者や沿線自治体等と連携した取組の実施に期待。なお、各自治体との地域間幹線系統の確保維持に関する情報共有を確実に行うようお願いしたい。
- ・引き続き、新型コロナウイルスに対する経営支援の取組や公共交通の安全性のPRを行い、バス利用者が安心して利用できる環境づくりに努めてもらいたい。

前回の事業評価結果の反映状況

①北陸新幹線開業に向けた地域公共交通計画策定の調査・検討について

- ・令和4年4月に福井県嶺北地域公共交通活性化協議会を設立し、市町や交通事業者等と課題等を共有しながら、令和5年度中の嶺北地域公共交通計画策定に向けて検討を進めている。地域ごとに部会も開催し、コンサルの分析に基づき、沿線市町等と情報共有を図っている。



設立総会



協議会

②生産性向上WGを実施

- ・交通事業者ごとに沿線市町を交えてWGを開催し、全ての路線図やODデータを基に、更なる利用促進や路線の改善に向けた意見交換を実施

前回の事業評価結果の反映状況

- ・令和4年11月にJR西日本が北陸版tabiwaの運用を開始し、路線バスを組み合わせた周遊バスなどを発売。また、ふくいMaaS協議会において路線バスの電子企画切符(実証実験)の販売を実施
- ・R5年度中に県内のほぼすべての地域間幹線系統にICOCAを導入予定(91.7%)
(R4県支援額 嶺北 81,950千円、嶺南 35,695千円)
- ・駅メモと連動した利用促進

福井鉄道およびえちぜん鉄道沿線の駅、ならびに周辺の観光スポットを巡るデジタルスタンプラリーを開催。対象スポット(観光地等)に行く場合の路線バスの案内をHPに掲載。

2日券 越前・嶺北・福井・大野・嶺南・三国・あわら

越前tabiwaパス

おとな 2,500円 | こども 1,200円

詳しくはこちら

自由周遊区間のJR(普通列車普通車自由席)や指定のバスが乗り放題。また、観光施設の入館料もセットになったおトクな周遊バス!

料金 おとな2,500円、こども1,200円

有効期間 2日間

発売期間 2023年3月31日まで

注意事項

※ご利用は2023年4月1日まで

※ご利用は1ヵ月前から有効開始日当日まで発売

※変更・払い戻し・使用開始前に限り可能(払い戻しは1人あたり200円の手数料が必要)

(注1)ご利用前に、利用開始操作が必要です。

(注2)料金外(特急券等)が必要な在来線の列車にご乗車の場合は、運賃のみ有効です。別途料金(特急券等)をお買い求めください。

モデルコース

下記のモデルコースが

おとな 2,500円 | こども 1,200円

3,960円 →

※運賃価格は、下記モデルコースのサービスの利用交通機関(JRは普通列車利用時)、D・Cの各路線の入場料等の所定額の合計額です。

※上記以外の交通機関の運賃、観光施設の入場料等は含まれておりません。

モデルコースはこちら

周遊バスのご購入はこちらから
tabiwa(Wi-Fi版)に移動します

※周遊バスのご購入・ご利用はスマートフォンのみからとなります。

tabiwa

ICOCA



駅メモキャンペーン

開催期間
2022年03月25日(金)～2022年11月30日(水)

キャンペーン概要
福井鉄道およびえちぜん鉄道沿線の駅、ならびに周辺の観光スポットを巡るデジタルスタンプラリーを開催します。ミッション対象の駅やスポットにチェックインするとゲーム内アイテムを獲得できます! さらに、特定のミッションをクリアすると、公認でんこの「リト、つぼぞ、ゆめ、ていら」のコラボ限定限定フィルムを獲得できます!

ミッションや獲得できる報酬の詳細は、ミッションタブよりご確認ください

なお、えちぜん鉄道の対象スポットである「東尋坊」「福井県立恐竜博物館」「大本山永平寺」に、駅からバスで行かれる際は以下のサイトをご活用ください!

路線バス等紹介サイト<http://www.echizen-tetudo.co.jp/station/connection.html>

また、デジタルスタンプラリーの他に、ミッション達成を条件としたカタログギフトのプレゼント企画や記念ノベルティ配付、コラボグッズの販売など様々な企画も実施します! 詳しくはコラボタブをご覧ください

対象駅

- 福井駅(大町)
- 皮羽山山麓口
- 西山公園
- 北府
- 福前駅
- 福井(福井)
- 田原町(福井)
- あわら駅のまち
- 三国(福井)
- 永平寺口
- 嶺山

対象スポット

- 東尋坊(東尋坊タワー)
- あわら温泉(伊達)
- 福井県立恐竜博物館
- 大本山永平寺(龍門)
- 名護 善法園邸
- 福井城(白山口御門)
- 皮羽山公園(愛宕坂の展望台)
- 西山公園(展望台)
- 伊達の辻

前回の事業評価結果の反映状況

- ・カーフリーデーふくい2022(9/18)において、バスの乗り方教室等を実施
- ・公共交通通勤啓発ポスターを作成し、生活情報誌「ファミリー」に掲載(11/25)、県公式LINEにて毎週木曜(8週間)掲載。事業者SNS等にも掲載。
- ・公共交通機関の利用促進のため、燃料費節減アピールをし、カーセーブ運動への参加を呼びかけ
- ・「エコ通勤」の啓発のため、公共交通での通勤を促すリーフレットを市町や企業等に配布

④新型コロナウイルスに対する経営支援の取組や公共交通の安全性のPRについて

- ・新型コロナウイルス感染症に加え、原油価格高騰の影響により経営に大きな影響が生じているバス事業者等に対し、令和4年度補正予算(6月・9月・12月)において県から650百万円の経営支援
- ・京福バス、福鉄バス、大和交通にバスマスク型前方幕を掲載し、抗菌抗ウイルス加工の実施など公共交通機関のコロナ対策を県民にPR



乗り方教室



公共交通機関利用ポスター



バスマスク型前方幕

事業実施の適切性(運行実績)

- ・おおむね計画通り適切に実施された。

事業の今後の改善点

- ・北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、地域公共交通計画を策定し、持続可能な交通ネットワークの構築や、新幹線駅からの利便性の高い二次交通の整備(観光路線の増便や観光型MaaSとの連携等)に取り組んでいく。
- ・生産性向上の取組みについては、引き続き事業者、市町、県、国での協議を継続し、新型コロナウイルス感染症等により落ち込んだ利用者数を改善するため、路線維持に向けた取組みを検討していく。(路線ごとの今後の改善点については、別添事業評価様式および地域間幹線系統分析シートを参照)
- ・通勤通学での利用を促すため、小中高大学生向けMMリーフレットやエコ通勤リーフレットによる呼びかけを継続する。また、パーク&バスライドの推進をしていく。
- ・バス運転手の人材確保の取組みについて事業者とともに検討していく。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により落ち込んだ利用の回復を図るため、引き続き事業者の行う抗ウイルス・抗菌加工等の感染防止対策等を市町においても広報し、バスの安全性を積極的にPRしていく。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年1月16日

協議会名: 福井県生活バス路線確保対策協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
福井鉄道	若狭線 敦賀駅～美浜駅 (車両減価償却費等補助対象路線)	市町による免許返納者への路線バス等利用券や高校生への通学定期補助、高齢者向け定期券「はんわりパス」や学生専用定期券「キャンパス」の周知を行った。また、フリーきっぷ半額キャンペーンのPRにより、利用促進を図っている。 車両の抗ウイルス・抗菌加工や車内の換気・消毒などの感染防止対策を広報し、バスの安全性をPRした。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 新型コロナウイルス感染拡大による高齢者の出控えにより利用が減少し、目標は達成できなかった。 【輸送量】 目標:12.7人 実績:11.1人 平均乗車密度:2.1人 運行回数:5.3回 【収支率】 目標:1.0%以上の改善 実績:0.5%の改善	市町による免許返納者への路線バス等利用券や高校生への通学定期補助、高齢者向け定期券「はんわりパス」や学生専用定期券「キャンパス」の周知を引き続き実施し利用促進を図る。 また、市町とともに均一運賃制への見直し検討を行っていく。 車両の抗ウイルス・抗菌加工等コロナ対策を引き続き広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。
福井鉄道	菅浜線 敦賀駅～白木 (車両減価償却費等補助対象路線)	発電所周辺企業への利用の働きかけや、海水浴客の利用回復のため、市町や観光協会等のHP等による広報や問い合わせに対する当該路線の案内を行った。また、フリーきっぷ半額キャンペーンのPRにより、利用促進を図っている。 車両の抗ウイルス・抗菌加工や車内の換気・消毒などの感染防止対策を広報し、バスの安全性をPRした。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 新型コロナウイルス感染拡大の影響により発電所への通勤客や夏季海水浴客の利用が減少し、目標は達成できなかった。 【輸送量】 目標:11.5人 実績:4.5人 平均乗車密度:0.9人 運行回数:5.0回 【収支率】 目標:1.0%以上の改善 実績:8.3%の悪化	発電所周辺企業への利用の働きかけにより利用者確保を図る。 また、市町とともに均一運賃制への見直し検討を行っていく。 車両の抗ウイルス・抗菌加工等コロナ対策を引き続き広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。
福井鉄道	武生・越前海岸線 越前武生駅～かれい崎 (車両減価償却費等補助対象路線)	越前町内中学校を卒業する生徒全員に路線案内、時刻表を配布し、路線バスでの通学をPRし利用促進を行った。 高齢者向け定期券「はんわりパス」や越前町による高齢者等への運賃補助の周知を実施し、高齢者への利用促進を行った。また、フリーきっぷ半額キャンペーンのPRにより、利用促進を図っている。 車両の抗ウイルス・抗菌加工や車内の換気・消毒などの感染防止対策を広報し、バスの安全性をPRした。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が減少し、目標は達成できなかった。 【輸送量】 目標:17.1人 実績:15.0人 平均乗車密度:2.9人 運行回数:5.2回 【収支率】 目標:1.0%以上の改善 実績:4.6%の悪化	沿線学校での通学利用PR、学生専用定期券「キャンパス」の周知等を行い、高齢者向け定期券「はんわりパス」の周知や、越前町による高齢者等への運賃補助を継続し、路線バスの利用促進を図る。 車両の抗ウイルス・抗菌加工等コロナ対策を引き続き広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。 越前海岸における観光イベントと連携して観光客向けに広報し、越前海岸への観光客のバス利用の促進を図る。 福浦線、鯖浦線、武生越前海岸線の重複区間(かれい崎～織田間)について、利便性を維持しつつ効率の運行について関係市町と検討を開始する。

福井鉄道	福浦線 田原町～かれい崎 (車両減価償却費等補助対象路線)	越前町内中学校を卒業する生徒全員に路線案内、時刻表を配布し路線バスでの通学をPRし利用促進した。 高齢者向け定期券「はんわりパス」や越前町による高齢者等への運賃補助の周知を実施し、高齢者への利用促進を行った。また、フリーきっぷ半額キャンペーンのPRにより、利用促進を図っている。 車両の抗ウイルス・抗菌加工や車内の換気・消毒などの感染防止対策を広報し、バスの安全性をPRした。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が減少し、目標は達成できなかった。 【輸送量】 目標：10.4人 実績：6.7人 平均乗車密度：2.5人 運行回数：2.7回 【収支率】 目標：1.0%以上の改善 実績：10.7%の悪化	沿線学校での通学利用PR、学生専用定期券「キャンパス」の周知等を行い、高齢者向け定期券「はんわりパス」の周知や、越前町による高齢者等への運賃補助を継続し、路線バスの利用促進を図る。 車両の抗ウイルス・抗菌加工等コロナ対策を引き続き広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。 越前海岸における観光イベントと連携して観光客向けに広報し、越前海岸への観光客のバス利用の促進を図る。 福浦線、鯖浦線、武生越前海岸線の重複区間(かれい崎～織田間)について、利便性を維持しつつ効率的運行について関係市町と検討を開始する。
福井鉄道	南越線 シビィ～和紙の里 (車両減価償却費等補助対象路線)	南越中学校の卒業生に時刻表配布等のPRを行い利用促進を行った。また、武生東高校での出張販売、学校と連携した増便対応などで送迎や自転車からの通学手段切り替えを促す取組を行った。 高齢者向け定期券「はんわりパス」や越前市による高齢者等への運賃補助の周知を実施し、高齢者への利用促進を行った。また、フリーきっぷ半額キャンペーンのPRにより、利用促進を図っている。 車両の抗ウイルス・抗菌加工や車内の換気・消毒などの感染防止対策を広報し、バスの安全性をPRした。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が減少し、目標は達成できなかった。 【輸送量】 目標：21.7人 実績：21.0人 平均乗車密度：3.0人 運行回数：7.0回 【収支率】 目標：1.0%以上の改善 実績：3.1%の悪化	南越中学校卒業生への時刻表配布や沿線の武生東高校での出張販売、学校と連携した増便対応などで送迎や自転車からの通学手段切り替えを促す。高齢者向け定期券「はんわりパス」の周知や、越前市による高齢者等への運賃補助を継続し、高齢者利用を確保する。 車両の抗ウイルス・抗菌加工等コロナ対策を引き続き広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。 また、武生楽市など商業施設と連携した路線のPRなどの取り組みを行い、買い物利用の促進を図る。
福井鉄道	鯖浦線(かれい崎) JR北鯖江駅～かれい崎 (車両減価償却費等補助対象路線)	越前町内中学校を卒業する生徒全員に路線案内、時刻表を配布し、路線バスでの通学をPRし利用促進を行った。 高齢者向け定期券「はんわりパス」や越前町による高齢者等への運賃補助の周知を実施し、高齢者への利用促進を行った。また、フリーきっぷ半額キャンペーンのPRにより、利用促進を図っている。 車両の抗ウイルス・抗菌加工や車内の換気・消毒などの感染防止対策を広報し、バスの安全性をPRした。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、福浦線での高齢者の遠出(主に日赤病院(福井市)への通院)が減少し、当路線による近場施設(主に丹南病院(鯖江市)や織田病院(越前町)への通院)への利用が増加したため、輸送量は達成できたが、収支率は達成できなかった。 【輸送量】 目標：6.9人 実績：9.6人 平均乗車密度：3.2人 運行回数：3.0回 【収支率】 目標：1.0%以上の改善 実績：3.1%の悪化	福武線、コミバスとの接続利便性についてPRするほか、事業者による沿線学校での通学利用PR等を行う。 高齢者向け定期券「はんわりパス」の周知や、越前町による高齢者等への運賃補助を継続し、高齢者の利用促進を図る。 車両の抗ウイルス・抗菌加工等コロナ対策を引き続き広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。 福浦線、鯖浦線、武生越前海岸線の重複区間(かれい崎～織田間)について、利便性を維持しつつ効率的運行について関係市町と検討を開始する。

福井鉄道	鯖浦線(織田) JR北鯖江駅～織田 (車両減価償却費等補助対象路線)	越前町内中学校を卒業する生徒全員に路線案内、時刻表を配布し、路線バスでの通学をPRL利用促進を行った。 高齢者向け定期券「はんわりバス」や越前町による高齢者等への運賃補助の周知を実施し、高齢者への利用促進を行った。また、フリーきっぷ半額キャンペーンのPRにより、利用促進を図っている。 車両の抗ウイルス・抗菌加工や車内の換気・消毒などの感染防止対策を広報し、バスの安全性をPRした。	A 計画通り事業は適切に実施された。	新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が減少したため、収支率は目標を達成できなかったが、輸送量は達成できた。 【輸送量】 目標:14.8人 実績:22.0人 平均乗車密度:4.0人 運行回数:5.5回 【収支率】 目標:1.0%以上の改善 実績:1.6%の悪化	福武線、コミバスとの接続利便性についてPRするほか、沿線学校での通学利用PR等を行う。 高齢者向け定期券「はんわりバス」の周知や、越前町による高齢者等への運賃補助を継続し、高齢者の利用促進を図る。 車両の抗ウイルス・抗菌加工等コロナ対策を引き続き広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。
福井鉄道	池田線 越前武生駅～金山・魚見 (車両減価償却費等補助対象路線)	池田中学校を卒業する生徒全員に路線案内、時刻表を配布し、路線バスでの通学をPRL利用促進を行った。 高齢者向け定期券「はんわりバス」や池田町による町民への運賃補助の周知を実施し、高齢者への利用促進を行った。また、フリーきっぷ半額キャンペーンのPRにより、利用促進を図っている。 車両の抗ウイルス・抗菌加工や車内の換気・消毒などの感染防止対策を広報し、バスの安全性をPRした。	A 計画通り事業は適切に実施された。	新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が減少し、目標は達成できなかった。 【輸送量】 目標:8.4人 実績:6.3人 平均乗車密度:1.5人 運行回数:4.2回 【収支率】 目標:1.0%以上の改善 実績:0.3%の改善	池田中学校卒業生への時刻表配布や沿線の武生東高校での出張販売等路線バスの利用を促進する。高齢者向け定期券「はんわりバス」の周知や、越前市による高齢者等への運賃補助を継続し、高齢者利用を確保する。 車両の抗ウイルス・抗菌加工等コロナ対策を引き続き広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。 また、武生薬市など商業施設と連携した路線のPRなどの取り組みを行い、買い物利用の促進を図る。
京福バス	越前海岸ブルーライン 福井駅～波の華 (車両減価償却費等補助対象路線)	Twitterでの運行状況発信により、利便性の向上に努めた。また、フリーきっぷ半額キャンペーンを実施し、利用拡大に努めている。 地元である越廼地区の園児・児童の皆さんがデザインしたバス停を設置し、利用促進に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施された。	新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が想定より減少し、一方で費用も燃料単価高騰により増加し、輸送量・収支率ともに目標を達成できなかった。 【輸送量】 目標:37.8人 実績:36.4人 平均乗車密度:2.6人 運行回数:14.0回 【収支率】 目標:1.0%以上の改善 実績:0.6%の悪化	沿線4地区の協議会において、引き続き地域での利用促進の取組みを継続し、地域住民の利用を確保する。また、福井駅方面から福井医療大学への通学需要も見込めるため、学生への周知を行い利用促進を図りたい。 越前海岸に向かう路線であるため、越前海岸2日フリーきっぷや休日フリーきっぷ等を自治体の広報誌やメルマガ等でPRするほか、休日フリーきっぷを車内でも販売していることなどを積極的にPRし利用増加につなげるほか、路線バスで行ける越前海岸の観光地のPR等を行い、観光利用の促進につなげたい。 また、車両の抗ウイルス・抗菌加工や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。
京福バス	エンゼルランド線 福井駅～エンゼルランド (車両減価償却費等補助対象路線)	Twitterでの運行状況発信により、利便性の向上に努めた。また、フリーきっぷ半額キャンペーンを実施し、利用拡大に努めている。 美めぐりふくいのHPや冊子で路線バス旅をPRし、利用促進に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施された。	福井附属小学校および福井附属幼稚園の需要が回復したことにより輸送量は目標を達成できたが、一方で費用は燃料単価高騰により増加し、収支率は目標を達成できなかった。 【輸送量】 目標:8.0人 実績:8.8人 平均乗車密度:1.1人 運行回数:8.0回 【収支率】 目標:1.0%以上の改善 実績:4.4%の悪化	福井大学附属義務教育学校でのバスの乗り方教室の継続や、沿線高校へのMMパンフレットの配布等により、通学利用の促進を図っていく。 エンゼルランドへの利用を増やすため、エンゼルランドでの路線案内や、情報誌等でのPR等を行いたい。 車両の抗ウイルス・抗菌加工や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。その他、自治研修所に行く県や市町職員に利用を働きかける。

京福バス	丸岡線 福井駅～田原町～丸岡城 (車両減価償却費等補助対象路線)	Twitterでの運行状況発信により、利便性の向上に努めた。また、フリーきっぷ半額キャンペーンを実施し、利用拡大に努めている。 美めぐりふくいHPや冊子で路線バス旅をPRし、利用促進に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が想定より減少したことにより輸送量は目標を達成できなかった。一方で収入の増加の方が費用の増加を上回ったことで収支率は目標を達成できた。 【輸送量】 目標:18.6人 実績:17.5人 平均乗車密度:3.5人 運行回数:5.0回 【収支率】 目標:1.0%以上の改善 実績:10.4%の改善	福井市内各高校等への通学利用が多いため、沿線学校での通学利用のPRなどを積極的に行い通学利用を促す。 休日フリーきっぷの市町における広報や、丸岡バスターミナルでのイベント等のPRにより利用促進を図りたい。 また、車両の抗ウイルス・抗菌や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。
京福バス	県立病院丸岡線 福井駅～県立病院～丸岡城 (車両減価償却費等補助対象路線)	Twitterでの運行状況発信により、利便性の向上に努めた。美めぐりふくいHPや冊子で路線バス旅をPRし、利用促進に努めた。 また、フリーきっぷ半額キャンペーンを実施し、利用拡大に努めている。 外国人の利用促進のため、バスの乗り方多言語チラシを作成、配布。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 新型コロナウイルス感染拡大の影響により県立病院への利用が想定より減少し、一方で費用も燃料単価高騰により増加し、輸送量・収支率ともに目標を達成できなかった。 【輸送量】 目標:39.6人 実績:37.4人 平均乗車密度:3.4人 運行回数:11.0回 【収支率】 目標:1.0%以上の改善 実績:5.7%の悪化	県立病院への通院利用が多いため、高齢者向け定期券「いきいき定期」などを事業者、沿線市においてPRし利用促進を図る。 また、エルパ利用者への運賃割引の広報や、エルパ内でのバス案内を行い、エルパ利用者のバス利用促進を図りたい。また、休日フリーきっぷを市のホームページ等で積極的に広報し、丸岡城への観光利用の促進も図りたい。 また、車両の抗ウイルス・抗菌や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。
京福バス	大学病院線 福井駅～福井大学病院～県立大学 (車両減価償却費等補助対象路線)	Twitterでの運行状況発信により、利便性の向上に努めた。また、フリーきっぷ半額キャンペーンを実施し、利用拡大に努めている。 外国人の利用促進のため、バスの乗り方多言語チラシを作成、配布。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 新型コロナウイルス感染拡大の影響により福井大学病院および県立大学への利用が想定より減少し輸送量は目標を達成できなかったが、一方で収入の増加の方が費用の増加を上回ったことで収支率は目標を達成できた。 【輸送量】 目標:19.6人 実績:18.0人 平均乗車密度:4.5人 運行回数:4.0回 【収支率】 目標:1.0%以上の改善 実績:4.1%の改善	引き続き沿線大学等で、新入生オリエンテーション等でのポケット時刻表や学生フリー定期チラシの配布等を行うほか、保護者にも学生フリー定期等のバス路線の案内を行い、学生利用の促進を図る。 また、高齢者向け定期券「いきいき定期」の広報を引き続き行い、高齢者の通院利用の確保を図る。 また、車両の抗ウイルス・抗菌や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市町においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。
京福バス	大和田丸岡線 福井駅～県立病院～丸岡城 (車両減価償却費等補助対象路線)	Twitterでの運行状況発信により、利便性の向上に努めた。美めぐりふくいHPや冊子で路線バス旅をPRし、利用促進に努めた。 また、フリーきっぷ半額キャンペーンを実施し、利用拡大に努めている。 外国人の利用促進のため、バスの乗り方多言語チラシを作成、配布。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が想定より減少し、一方で費用も燃料単価高騰により増加し、輸送量・収支率ともに目標を達成できなかった。 【輸送量】 目標:40.7人 実績:38.5人 平均乗車密度:3.5人 運行回数:11.0回 【収支率】 目標:1.0%以上の改善 実績:3.8%の悪化	高齢者向け定期券「いきいき定期」などを事業者、沿線市においてPRし利用促進を図る。 また、エルパ利用者への運賃割引の広報や、エルパ内でのバス案内を行い、エルパ利用者のバス利用促進を図りたい。また、休日フリーきっぷを市のホームページ等で積極的に広報し、丸岡城への観光利用の促進も図りたい。 また、車両の抗ウイルス・抗菌や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。

京福バス	大和田大学病院線 福井駅～福井大学病院 (車両減価償却費等補助対象路線)	Twitterでの運行状況発信により、利便性の向上に努めた。また、フリーきっぷ半額キャンペーンを実施し、利用拡大に努めている。 外国人の利用促進のため、バスの乗り方多言語チラシを作成、配布。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 新型コロナウイルス感染拡大の影響が縮小してきたこと等により、輸送量・収支率ともに目標を達成できた。 【輸送量】 目標:65.6人 実績:80.1人 平均乗車密度:3.3人 運行回数:24.3回 【収支率】 目標:1.0%以上の改善 実績:5.2%の改善	引き続き沿線大学等で、新入生オリエンテーション等でのポケット時刻表や学生フリー定期チラシの配布等を行うほか、保護者にも学生フリー定期等のバス路線の案内を行い、学生利用の促進を図る。また、学生フリー定期チラシ等の多言語化を行い、留学生の利用にもつなげたい。 また、高齢者向け定期券「いきいき定期」の広報を引き続き行い、高齢者の通院利用の確保を図る。 また、エルパ利用者への運賃割引の広報や、エルパ内でのバス案内を行い、エルパ利用者のバス利用促進を図りたい。 車両の抗ウイルス・抗菌や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市町においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。
京福バス	勝山大野線 ヴィオ～福井勝山総合病院 (車両減価償却費等補助対象路線)	Twitterでの運行状況発信により、利便性の向上に努めた。また、フリーきっぷ半額キャンペーンを実施し、利用拡大に努めている。 奥越明成高校へ定期券の出張販売を実施。 時刻見直しを行い、利便性の向上を図った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 新型コロナウイルス感染拡大の影響が縮小してきたことや大野地区から勝山地区への通学利用が増加したことなどにより、輸送量・収支率ともに目標を達成できた。 【輸送量】 目標:11.6人 実績:15.3人 平均乗車密度:2.1人 運行回数:7.3回 【収支率】 目標:1.0%以上の改善 実績:5.4%の改善	奥越明成高校等への通学利用が多い路線であるため、入学説明会でのバス利用案内や通学定期券の出張販売等を継続。 また、高齢者の通院利用もあるため、高齢者向け定期券「いきいき定期」や高齢者向け支援策(運賃割引制度)の周知を継続するほか、高齢者向けの乗り方教室等を実施し、高齢者の利用を促進したい。 また、休日フリーきっぷ等を自治体の広報誌やメルマガ等でPRするほか、車内でも販売していることなどを積極的にPRし、利用増加を図りたい。 車両の抗ウイルス・抗菌や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。
京福バス	大野線 福井駅～ヴィオ (車両減価償却費等補助対象路線)	Twitterでの運行状況発信により、利便性の向上に努めた。また、フリーきっぷ半額キャンペーンを実施し、利用拡大に努めている。 また、JR西日本と連携し、tabiwaにおいて周遊パスも掲載している。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 新型コロナウイルス感染拡大の影響が縮小してきたこと等により、輸送量・収支率ともに目標を達成できた。 【輸送量】 目標:33.0人 実績:36.3人 平均乗車密度:3.3人 運行回数:11.0回 【収支率】 目標:1.0%以上の改善 実績:2.1%の改善	JR越美北線と並行する路線であるため、越美北線の時刻表も併記したバス時刻表の作成等により、越美北線との相互利用を推進していく。 また、福井市内への通院利用もあるため、大野市での高齢者医療保険者説明会での「いきいき定期」周知等の継続や、高齢者向けの乗り方教室等を実施し、高齢者の利用を促進したい。 また、休日フリーきっぷ等を自治体の広報誌やメルマガ等でPRするほか、車内でも販売していることなどを積極的にPRし、利用増加を図りたい。 車両の抗ウイルス・抗菌や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。

京福バス	清水グリーンライン 福井駅～プラント3 (車両減価償却費等補助対象路線)	Twitterでの運行状況発信により、利便性の向上に努めた。また、フリーきっぷ半額キャンペーンを実施し、利用拡大に努めている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が想定どおりであり輸送量は目標を達成できたが、一方で費用も燃料単価高騰により増加し、収支率は目標を達成できなかった。 【輸送量】 目標:50.1人 実績:50.1人 平均乗車密度:2.2人 運行回数:22.8回 【収支率】 目標:1.0%以上の改善 実績:0.8%の悪化	清水プラント3で接続するデマンドタクシー「ほやほや号」と組み合わせた利用を、福井市清水地区、越前町においてチラシ等により沿線住民へ周知を行うほか、住民向け説明会や乗り方教室等を実施し、「ほやほや号」と組み合わせた当路線の利用促進を図る。また、プラント3での買い物客への利用促進策を検討したい。 福井市内への通院利用も多い路線であるため、高齢者向け定期券「いきいき定期」等の周知を継続し高齢者の利用促進を図りたい。 車両の抗ウイルス・抗菌や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市町においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。
京福バス	西田中宿堂線 福井駅～天王 (車両減価償却費等補助対象路線)	Twitterでの運行状況発信により、利便性の向上に努めた。また、フリーきっぷ半額キャンペーンを実施し、利用拡大に努めている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用が想定より減少し、一方で費用も燃料単価高騰により増加し、輸送量・収支率ともに目標を達成できなかった。 【輸送量】 目標:12.9人 実績:12.6人 平均乗車密度:4.2人 運行回数:3.0回 【収支率】 目標:1.0%以上の改善 実績:3.7%の悪化	高齢者向け定期券「いきいき定期」や自治体による高齢者運賃補助制度、高校生への通学支援補助制度等を継続し、利用促進を図ることが重要である。 また、清水プラント3で接続するデマンドタクシー「ほやほや号」と組み合わせた利用を、福井市清水地区、越前町において沿線住民への周知を行うほか、住民向け説明会や乗り方教室等を実施し、「ほやほや号」と組み合わせた当路線の利用促進を図る。また、プラント3での買い物客への利用促進策を検討したい。 車両の抗ウイルス・抗菌や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市町においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。
京福バス	東尋坊線 芦原温泉駅～三国観光ホテル (車両減価償却費等補助対象路線)	Twitterでの運行状況発信により、利便性の向上に努めた。また、フリーきっぷ半額キャンペーンを実施し、利用拡大に努めている。駅メモと連動した利用促進も行っている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 新型コロナウイルス感染拡大の影響により観光地である東尋坊への利用が想定より減少し輸送量は目標を達成できなかったが、一方で収入の増加の方が費用の増加を上回ったことで収支率は目標を達成できた。 【輸送量】 目標:50.7人 実績:45.1人 平均乗車密度:3.2人 運行回数:14.1回 【収支率】 目標:1.0%以上の改善 実績:9.2%の改善	観光利用が多い路線であるため、東尋坊2日フリーきっぷや休日フリーきっぷの周知を沿線観光施設等と連携して行うほか、三国温泉組合と連携したフリーきっぷの販売増加、温泉旅館等への送迎需要の取り込みを引き続き図り、利用促進を図る。 今年度の利用減少は、新型コロナウイルス感染拡大による観光客の減少によるもののため、コロナが収束すれば利用が回復してくると考えられるが、車両の抗ウイルス・抗菌や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。

京福バス	芦原丸岡永平寺線 永平寺門前～丸岡バスターミナル～芦原温泉駅 (車両減価償却費等補助対象路線)	Twitterでの運行状況発信により、利便性の向上に努めた。また、フリーきっぷ半額キャンペーンを実施し、利用拡大に努めている。駅メモと連動した利用促進も行っている。	A 計画通り事業は適切に実施された。	C 新型コロナウイルス感染拡大の影響により観光地である永平寺への利用が想定より減少し、一方で費用も燃料単価高騰により増加し、輸送量・収支率ともに目標を達成できなかった。 【輸送量】 目標:11.1人 実績:7.9人 平均乗車密度:2.2人 運行回数:3.6回 【収支率】 目標:1.0%以上の改善 実績:3.6%の悪化	県内の有名観光地を多く通る路線であるため、永平寺・東尋坊2日フリーきっぷや休日フリーきっぷの周知を沿線観光施設等と連携して行い、利用促進を図る必要がある。 今年度の利用減少は、新型コロナウイルス感染拡大による観光客の減少によるものため、コロナが収束すれば利用が回復してくると考えられるが、車両の抗ウイルス・抗菌や車内の換気・消毒などの感染防止対策を市町においても広報し、バスの安全性をPRすることで、利用の回復を図る。
大和交通株式会社	名田庄線 名田庄流星館～小浜二中	バス移動における安全性や時刻表に盛り込んだチラシを名田庄地区全戸に配布し、自宅での掲示を依頼した。 本チラシには国・県・地元自治体から補助金を受け運行していることや、利用が少なくなれば廃線になる可能性があることを明示し利用促進を行った。 また地元教育委員会や学校に対し、行事開催時での利用を依頼を行った。しかしながら、新型コロナ感染症の影響等により、期待していた程の結果は得られなかった。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用者が減少し、収支率は目標を達成できなかったものの、輸送量は達成でき、前年と比較しても僅かではあるが回復の兆しが見られた。 【輸送量】 目標:18.0人 実績:19.0人 平均乗車密度:3.8人 運行回数:5.0回 【収支率】 目標:1.0%以上の改善 実績:1.2%の悪化	小浜市・おおい町による通学定期券の補助を継続していただくことで、定期券利用者の増加を図る。また、両自治体による免許返納者へのバス利用券等の交付やおおい町による高齢者の免許返納による運賃無料化等を継続していただくと共に、制度の周知に努め高齢者の利用の取りこぼしがないように努める。 また小浜市内の小・中学校に対しても、路線上に位置する運動場への往復時に利用していただくよう働きかけている。
京都交通	高浜線 東舞鶴駅前～高浜駅前	若狭たかはまひなまつりなど沿線自治体のイベントに、新型コロナ禍の影響で参加出来なかったが、高浜町の実証実験(グリスロ)へのお試し乗車を可能とするチラシ企画を実施し、利用促進に努めた。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 新型コロナウイルス感染拡大の影響が縮小し、少し回復しつつあり、輸送量は目標を達成できたが、収支率は達成できなかった。 【輸送量】 目標:12.8人 実績:15.1人 平均乗車密度:3.3人 運行回数:4.6回 【収支率】 目標:1.0%以上の改善 実績:4.7%の悪化	京都府の利用促進イベント「バス・エコファミリー」への参加や、高浜町内の実証実験やイベントと連携したお試し乗車企画等を引き続き実施するほか、沿線自治体と連携し学校や老人会等でモビリティマネジメントを行い、利用促進を図る。 高齢者の利用を促すため、運転免許返納者へのバス回数券の交付についてPRする。また、赤ふんバスとの連携を図るため、赤ふんバスとの共通利用券や、高浜線の一部バス停(日置)を拠点とした赤ふんバスとの乗り換えなどを検討する。 利用者の大半が高浜町から舞鶴市への利用であるため、東舞鶴高校生の取り込みについて引き続き検討する。

西日本JRバス	若江線 近江今津～小浜 (車両減価償却費等補助対象路線)	青春18きっぷ利用者への割引 施策実施等、新たな需要の掘り 起こしを図るなど当該路線の利用 促進・活性化・収支改善に努め た。	A	計画通り事業は適切に実施され た。	A	引き続き新型コロナウイルス感染 拡大の影響はあったが、利用促進策 等により目標を達成することができ た。 【輸送量】 目標:39.0人 実績:39.9人 平均乗車密度:3.1人 運行回数:12.9回 【収支率】 目標:1.0%以上の改善 実績:2.9%の改善	小浜サイクリングルートと滋賀県ピウ イチと連携し、積極的にPRすることで サイクリング利用者の取り込みを図る。 また、三方五湖周遊バスやJRと組み 合わせた周遊観光を積極的にPRし、 観光客の利用促進を図る。滋賀県、高 島市とも連携し、官民、沿線市町一体 となって「鯖街道の日」「熊川マルシェ」 「鯖街道トライアスロン」などの地域の イベントと連携した路線のPRを行うこ とで、観光利用の回復を促す。 出張控えによりビジネス利用客が減 少していることから、沿線企業に働き かけるなどビジネス利用の回復を図 る。
---------	--	---	---	----------------------	---	--	---

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和5年1月16日

協議会名:	福井県生活バス路線確保対策協議会
評価対象事業名:	地域間幹線系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>本県は、一世帯当たりの自動車保有台数や、交通手段に占める車の割合が全国トップクラスで、県民の日常生活における車の依存度は高い。また、少子化の影響や新型コロナウイルス感染症の影響もあり、路線バスの輸送人員は減少傾向にある。さらに今年度は原油価格高騰の影響もあり、多くのバス路線は採算面でさらに厳しい状況に置かれており、事業者単独でバス路線を維持することは困難な状況にある。</p> <p>しかし、生活バス路線は地域住民の足として重要であり、特に地域間幹線系統はクルマを使うことができない高校生の通学や、運転免許を持っていない高齢者の通院や買い物等のための移動手段として必要不可欠である。</p> <p>また、本県では県民の過度なクルマ利用意識を見直し、公共交通機関や自転車の利用を呼びかけるカー・セーブ運動を平成20年度から実施しており、これらの取り組みを今後進めていく上でも、バス路線の維持が欠かせない。</p> <p>このため、地域公共交通確保維持改善事業により、通勤、通学、通院のための移動手段として利用されている生活バス路線を確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていく。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

令和5年1月16日

協議会名: 福井県嶺北地域公共交通活性化協議会

①事業の結果概要	④事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <p>①地域の現状整理 ②地域公共交通の利用状況等に関する調査 ③上位、関連計画の整理 ④課題の抽出 ⑤今後に向けた取組みの方向性の要点整理 ⑥協議会の開催</p> <p>【結果概要】</p> <p>①令和4年11月開催の第2回協議会までに整理 ②令和4年11月開催の第2回協議会までに各種調査等を実施 ③整理中 ④令和4年11月開催の第2回協議会までに整理 ⑤整理中 ⑥協議会を3回開催(4月(設立総会)、6月(第1回)、11月(第2回))</p>	<p>A</p> <p>第2回協議会までに嶺北地域の公共交通の現状を整理するとともに、バス・鉄道の利用者アンケートおよび住民アンケート調査が適切に実施された。調査結果を分析するとともに、市町や事業者との部会を通じ、課題等の整理を行った。 引き続き、施策の方向性について、検討していく。</p>	<p>【補助対象事業名】 地域公共交通調査事業(地域公共交通調査事業)</p> <p>【事業内容】 福井県嶺北地域公共交通計画策定支援事業</p> <p>【実施期間】 令和4年5月20日～令和5年3月31日</p> <p>・①将来にわたって地域の移動手段として持続可能な交通ネットワークの構築、②北陸新幹線開業に向けた新幹線駅からの利便性の高い二次交通の整備、③公共交通での移動を楽しめる仕掛けづくりの視点から、具体的な計画の内容を検討していく。</p>

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和5年1月16日

協議会名:	福井県嶺北地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域公共交通調査事業(地域公共交通調査事業)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	①将来にわたって地域の移動手段として持続可能な交通ネットワークの構築、②北陸新幹線開業に向けた新幹線駅からの利便性の高い二次交通の整備、③公共交通での移動を楽しめる仕掛けづくりを目指し、交通計画を策定する。